

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年
110034	X-01-A-1-110034	2	前期	【1・2年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×
授業科目	担当教員			【3年次生以上】国際学部国際文化学科	基礎	選択	1年
				【3年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	基礎	選択	1年
倫理学	阿部 ふく子			【1-3年次生】経営情報学部経営学科	基礎	選択	3年
				【1-3年次生】経営情報学部情報システム学科	基礎	選択	3年
				【4年次生】情報文化学部情報システム学科経営コース	基礎	選択	1年
		【4年次生】情報文化学部情報システム学科情報コース	基礎	選択	1年		
授業目的							
この講義では、伝統的な倫理思想に加え、応用倫理学のうち生命倫理・環境倫理という二つの分野をとりあげ、倫理学の基本的な問題関心・思考方法を通観します。「倫理」という漢語自体は、「なかま（倫）」の「ことわり（理）」という意味を表しています。共同体のなかに生きる人間の理について考えてゆく以上、倫理的な諸問題を真摯に受けとめた上で自らの考えを深め、他の人々の意見にも耳を傾けるという開かれた知的態度を身につけることが求められます。 当科目の内容は下記のディプロマポリシーと関連しています。 〈グローバルな課題への問題意識と国際教養を体得すること〉 〈自主的、計画的に情報を集め、考察し、自らの見解を加えて記述し発表できること〉							
各回の授業内容							
第1回 【授】 基本概念①：倫理（学）とは何か 【前・後】 配付資料や、講義で指示した文献等を用いて予習・復習に4時間かけること。 第2回 【授】 基本概念②：義務論（カント） 【前・後】 配付資料や、講義で指示した文献等を用いて予習・復習に4時間かけること。 第3回 【授】 基本概念③：功利主義（ベンサム、ミル） 【前・後】 配付資料や、講義で指示した文献等を用いて予習・復習に4時間かけること。 第4回 【授】 基本概念④：メタ倫理学 【前・後】 配付資料や、講義で指示した文献等を用いて予習・復習に4時間かけること。 第5回 【授】 生命倫理①：QOL倫理とSOL倫理 【前・後】 配付資料や、講義で指示した文献等を用いて予習・復習に4時間かけること。 第6回 【授】 生命倫理②：安楽死問題 【前・後】 配付資料や、講義で指示した文献等を用いて予習・復習に4時間かけること。 第7回 【授】 生命倫理③：脳死・臓器移植問題 【前・後】 配付資料や、講義で指示した文献等を用いて予習・復習に4時間かけること。 第8回 【授】 生命倫理④：医療資源の配分問題 【前・後】 配付資料や、講義で指示した文献等を用いて予習・復習に4時間かけること。				第9回 【授】 生命倫理⑤：エンハンスメントと優生思想 【前・後】 配付資料や、講義で指示した文献等を用いて予習・復習に4時間かけること。 第10回 【授】 生命倫理⑥：オープンダイアログと当事者研究 【前・後】 配付資料や、講義で指示した文献等を用いて予習・復習に4時間かけること。 第11回 【授】 環境倫理①：環境倫理学の理念 【前・後】 配付資料や、講義で指示した文献等を用いて予習・復習に4時間かけること。 第12回 【授】 環境倫理②：景観論 【前・後】 配付資料や、講義で指示した文献等を用いて予習・復習に4時間かけること。 第13回 【授】 環境倫理③：動物の権利 1 【前・後】 配付資料や、講義で指示した文献等を用いて予習・復習に4時間かけること。 第14回 【授】 環境倫理④：動物の権利 2 【前・後】 配付資料や、講義で指示した文献等を用いて予習・復習に4時間かけること。 第15回 【授】 まとめ 【前・後】 配付資料や、講義で指示した文献等を用いて予習・復習に4時間かけること。 第16回 【授】 試験 【前・後】 講義にて指示			
成績評価方法							
毎回課されるコメントペーパー（30%）、および記述式の期末試験（70%）による。 コメントペーパーは各回の講義内容に関連する簡単な質問に答えてもらう方式です。提出回数ではなく内容で評価します。							
教科書・参考書							
<ul style="list-style-type: none"> ・取り扱う分野が多岐にわたるため、毎回プリントを配布します。 ・参考文献は講義で随時紹介します。 							
受講に当たっての留意事項							
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回の講義で配布した資料にはすべて目を通すこと。 ・講義時に紹介する参考文献等にも積極的に手を伸ばし、自主的に学習を進めることが望ましい。 							
実務経験のある教員による授業科目有無	実務経験と授業科目との関連性						アクティブラーニング（ディスカッション、グループワーク、発表等）の実施
×							×
学習到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・倫理学の基本的な用語、主要な問い、議論を理解し説明することができる。 ・上記の理解を、個人的・日常的な所感や出来事、社会や政治の現実を考えるなかで柔軟に適用し、単なるエゴイズムに依らない理性的な倫理的判断力を身につける。 							
JABEE							

【授】：授業内容 【前・後】：事前・事後学習